

動画配信最前線

YouTube「突然ですが占ってもいいですか？」 地上波と違うオリジナル番組を配信 YouTubeクリエイターなどともコラボ

コンテンツ投資戦略局
編成管理部 主任
前田 泰成 さん



エポック株式会社
プロデューサー
坪井 理紗 さん



YouTubeの若い層にも 番組を見てもらいたかった

——人気番組「突然ですが占ってもいいですか？」のYouTubeチャンネルが2024年10月に開設されましたが、どんな狙いがあったのでしょうか。

前田■TVerやFODなどの配信サイトでの視聴が結構多い番組だったので、ちょっと違うプラットフォームでチャレンジできたらと考えました。また、TVerやFODは30代、40代がメインですが、YouTubeは10代、20代がかなり多い比率になっています。そんな若い層の人たちに見てもらいたかったという思いもありました。

——YouTubeで配信されている番組は、地上波とは別のオリジナルのもので、出演者も違います。

坪井■うちは若いスタッフが多いのですが、どんな人に出演してもらったらYouTube向けの番組になるのか、彼らと検討を重ねました。その結果、TikTokに出ている人や、配信サイトのリアリティショーに出演している人、若いYouTubeクリエイターなどが10代には刺さるのではないかと考え、その人たちに出演交渉をしました。前田■そういう方々とコラボして、持っているチャンネルでも宣伝してもらうことによって、相乗効果が得られるのではないかとこの思いがありました。結果的に、視聴回数が予想よりも伸びて、300万回を超えるヒットコンテンツも生まれ、チャンネル登録者も開設から約3カ月で10万人を超えました。

——フォーマットは地上波の番組と同じでしょうか。

前田■そうですね。ネット向けの番

組だからといって、クオリティを下げた作り方はしていません。セットも一緒です。

坪井■テロップの入れ方もほぼ同じです。ただ、YouTubeはスマホで見られる方が多く、地上波と同じ量を入れてしまうと見づらくなってしまいうので、量は調節しています。

——オリジナル番組だと制作の体制も大変だと思うのですが。

坪井■YouTubeのほうは若手のディレクターたちがメインで取り組んでいて、制作の勉強の場になればと思っています。フォーマットがある程度できているので大きく崩れることはないですし、ベテランもきちんとチェックしています。

前田■そうすることによって、制作チームの全体的なレベルアップにもつながっていくのではないかと期待しています。

週1回の配信なので、制作の体制やスケジュールも地上波と同じようにきちんと組んでいます。

それぞれに合った作り方で より広がりを見せていきたい

——狙いとしては、YouTubeで多く見てもらい、その人たちに地上波のほうも見てもらえるような構造になればいいという感じですか。

前田■YouTubeだけでなく、TVerやFODなどの配信サイトと地上波がうまく連動していくのが一番理想だと思っています。

ただ、YouTubeの視聴者を完全に地上波に持ってくるというのはなかなか難しいので、どちらかという番組のフォーマットを使って、いろんなところでそれぞれに合った作り

方をしていくというのが、より広がりを見せていくのではないかと考えています。

——地上波のパラエティ番組がYouTubeでも成功した貴重な例ですが、他の制作者へのアドバイスがあれば教えてください。

前田■僕らも立ち上げ前は全然わからなかったし、まだまだだと思っていますが、YouTubeクリエイターとコラボし、地上波とは違うオリジナル番組にしたのが、YouTubeの視聴者にも受け入れられた要因だと思っています。YouTubeは地上波とは違う視聴環境ですが、成功する企画はたくさんあるのではないのでしょうか。われわれも今後は企画を増やしたり、何か違う形のものを探っていければと思っています。

オススメコンテンツ



【前代未聞!!!!】公表前の結婚&妊娠が占ったら分かってしまった!公開延期の緊急事態に!

登録者175万人の人気YouTubeクリエイター・ヘラヘラ三銃士を当番組の人気占い師・星ひとみが占った回。明かしていなかった妊娠・結婚といった話的中!配信後にもSNSなどで話題となり、再生回数は210万回を超えた。ここでしか見られないヘラヘラ三銃士の姿に注目!

